水道管路機器のパイオニア、不断水の
大成機工株式会社

本社　〒530-0001　大阪市北区梅田1-1-3-2700(大阪駅前第3ビル)
URL https://www.taiseikiko.com
TEL:06-6344-7771(大代表)　FAX:06-6344-7941

北海道営業所 〒060-0002 札幌市中央区北２条西２-４１
TEL.011-272-5551(代表)　FAX.011-272-5581
E-mail:hokkaido@taiseikiko.com

東北支店 〒980-0013 仙台市青葉区花京院２-１-６５
TEL.022-263-4041(代表)　FAX.022-225-0829
E-mail:tohoku@taiseikiko.com

東京支店 〒103-0027 東京都中央区日本橋１-２-５
TEL.03-5201-7771(代表)　FAX.03-5201-7700
E-mail:tokyo@taiseikiko.com

名古屋支店 〒450-0002 名古屋市中村区名駅３-２２-８
TEL.052-551-0461(代表)　FAX.052-565-0136
E-mail:nagoya@taiseikiko.com

大阪営業部 〒530-0001 大阪市北区梅田１-１-３-１９００
TEL.06-6344-1144(代表)　FAX.06-6344-7942
E-mail:osaka@taiseikiko.com

北陸営業所 〒920-0364 金沢市松島２-１９１
TEL.076-269-4441(代表)　FAX.076-269-8551
E-mail:hokuriku@taiseikiko.com

岡山営業所 〒700-0904 岡山市北区柳町１-１-１
TEL.086-223-7248(代表)　FAX.086-231-9221
E-mail:okayama@taiseikiko.com

中国支店 〒732-0824 広島市南区的場町１-２-２１
TEL.082-261-7701(代表)　FAX.082-261-7717
E-mail:chugoku@taiseikiko.com

四国支店 〒760-0017 高松市番町１-１-５
TEL.087-823-7771(代表)　FAX.087-823-7781
E-mail:shikoku@taiseikiko.com

松山出張所 〒791-1101 松山市久米窪田町１１１２-１
TEL.089-976-3391(代表)　FAX.089-976-9010
E-mail:shikoku@taiseikiko.com

九州支店 〒812-0011 福岡市博多区博多駅前１-４-４
TEL.092-481-0026(代表)　FAX.092-481-0503
E-mail:kyushu@taiseikiko.com

休日･夜間の緊急連絡は三田工場(兵庫県)〈TEL.079-568-2700〉へお願いします。

代理店

ISO9001
REGISTERED ORGANIZATION No.0491/ISO 9001
MS CM002

本社／三田工場／三田第二工場
技術部／関西工事センター／
東京工事センター
認証取得

※本カタログ掲載の、製品の外観、仕様・寸法は予告なく変更する場合があります。
※無断複写は禁じております。

2025.9.MC.⑲.1,000

TAISEI KIKO

ヤノ・ストッパー

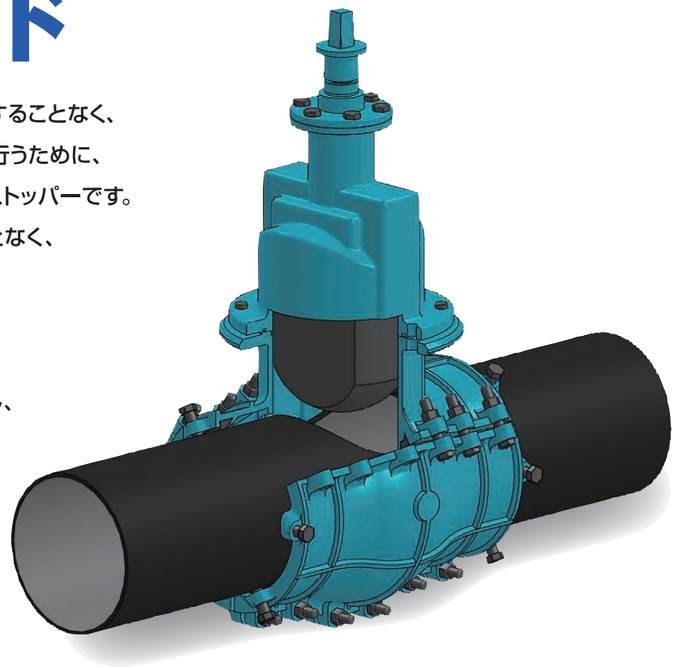
TV-210／TV-210DS／TV-210S／TV-210Ⅱ



ヤノ・ストッパー　管路断水器（TV-210）

不断水工法のスタンダード

配水管路の移設や布設替などの際に、断水することなく、
また断水区域を最小限にとどめて短時間で行うために、
大成機工が開発したのが管路断水器ヤノ・ストッパーです。
ヤノ・ストッパーは、水の流れを阻害することなく、
管路の任意の場所に設置できます。
昭和48年に初めて施工して以来、
上水道はもとより、工業用水道、農業用水道、
その他での実績はすでに24万箇所を突破し、
多数の事業体でご愛用いただいています。
ヤノ・ストッパーは、今や不断水工事に
欠かせない存在となっています。

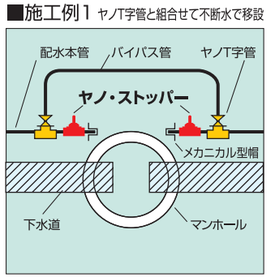


特　長

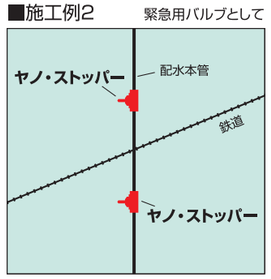
- 円形のカッターで穿孔しますので、管の強度低下が少なくてすみます。
- 穿孔部は、大部分を切片で回収しますので、切粉の発生が少なくてすみます。
  また、切粉は専用の切粉排出口より管外に排出します。（浅層埋設対応型のみ）
- 繰り返し開閉が可能です。（加圧状態で500回繰り返し開閉テストをクリアー）
- 真上からの穿孔のため、掘削寸法が小さくてすみます。
- 不要になれば不断水工事で弁体撤去工事を行うこともできます。

施 工 例

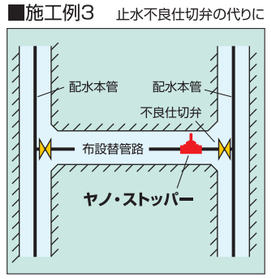
■施工例1 ヤノT字管と組合せて不断水で移設



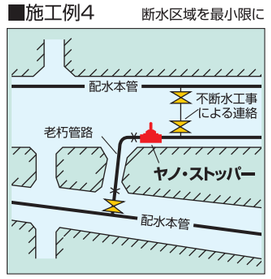
■施工例2　緊急用バルブとして



■施工例3　止水不良仕切弁の代りに

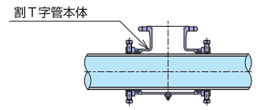


■施工例4　断水区域を最小限に

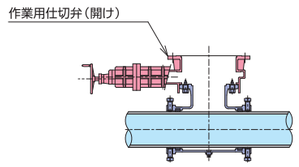


ヤノ・ストッパー　工程図

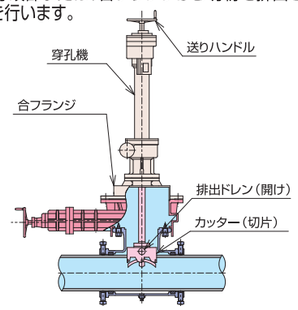
1 本管清掃後、既設管に2ツ割または、3ツ割の割T字管本体を取り付けます。割T字管のフランジ部にふたをし、水圧テストを行います。



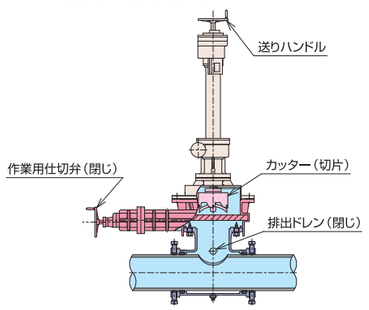
2 作業用仕切弁を割T字管のフランジに設置します。



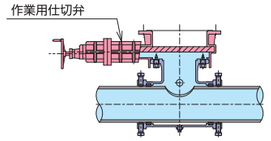
3 穿孔用合フランジおよび穿孔機を作業用仕切弁上部に設置し、ヤノ・ストッパー専用カッターで穿孔します。この時、割T字管の分岐部または、合フランジから切粉を排出させながら穿孔を行います。



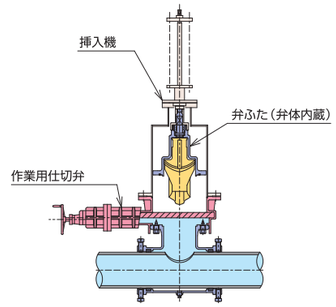
4 穿孔終了後、送りハンドルでカッターを戻し、切粉排出ドレン（浅層埋設対応型のみ）および作業用仕切弁を閉じます。



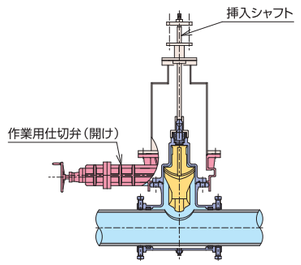
5 作業用仕切弁上部から穿孔機を取り外します。



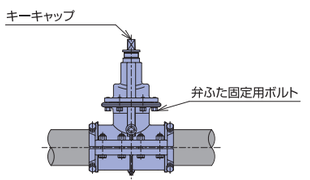
6 ヤノ・ストッパーの弁ふた（弁体内蔵）を挿入機に取り付け、作業用仕切弁上部に設置します。



7 作業用仕切弁を開き、挿入機のシャフトを下げて弁ふた（弁体内蔵）を挿入し、固定します。

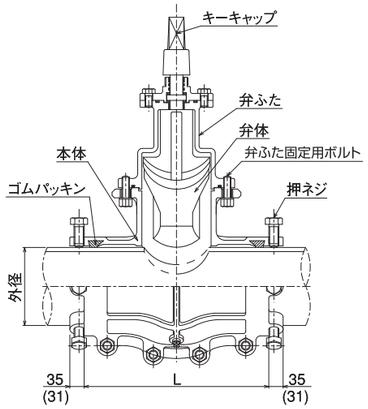


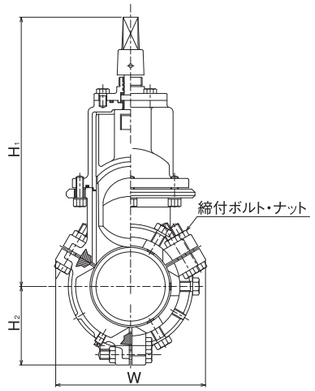
8 挿入機と作業用仕切弁を取り外し、弁ふた固定用ボルトを増し締めします。
キーキャップを取り付け、設置完了です。



ヤノ・ストッパー (TV-210)

〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁棒:SUS403
弁体:FCD450-10
　（SBRゴムライニング）
弁ふた:FCD450-10
締付ボルト・ナット:呼び径75～350
　FCD450-10または
　FCD(420-10)
　呼び径400～600
　SUS403
ゴムパッキン:SBR





※(　)内寸法は、呼び径75～150・3″～6″の場合を示します。

※ヤノ・ストッパー工程図はP2をご参照下さい。

鋳鉄ミリ管およびインチ管用（TV-210）

（単位:mm）

呼び径	外　径	H1	H2	L	W
75	93.0	434	120	344	241
3″	95.4	434	120	344	241
89	108.7	462	134	390	266
100	118.0	485	133	375	263
4″	122.2	487	138	375	271
125	143.0	543	154	412	300
5″	149.2	546	154	408	300
150	169.0	583	170	400	327
6″	176.2	587	170	400	327
200	220.0	745	214	600	405
8″	229.4	750	214	600	405

（単位:mm）

呼び径	外　径	H1	H2	L	W
250	271.6	870	246	600	460
10″	282.6	876	246	600	460
300	322.8	955	276	600	512
12″	335.8	961	276	600	512
350	374.0	1090	327	800	616
400	425.6	1145	361	800	666
450	476.8	1235	385	1000	716
500	528.0	1365	414	1000	768
600	630.8	1545	499	1200	919

※上記以外のサイズについてはお問い合せ願います。

鋼管用（TV-210）

（単位:mm）

呼び径	外　径	H1	H2	L	W
75	89.1	434	120	344	241
100	114.3	485	131	375	263
125	139.8	543	153	412	300
150	165.2	583	168	400	327
200	216.3	745	212	600	405
250	267.4	870	244	600	460
300	318.5	955	274	600	512

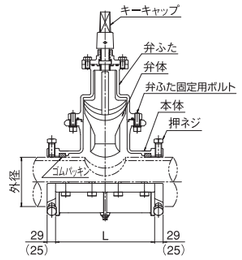
（単位:mm）

呼び径	外　径	H1	H2	L	W
350	355.6	1090	327	820	616
400	406.4	1145	361	820	674
450	457.2	1235	385	1020	716
500	508.0	1365	415	1020	768
600	609.6	1545	499	1250	919

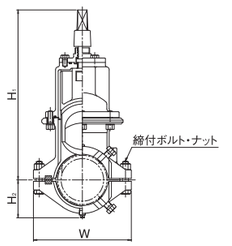
※上記以外のサイズについてはお問い合せ願います。

ダクタイル管用ヤノ・ストッパー (TV-210DS)

〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁棒:SUS403
弁体:FCD450-10
　（SBRゴムライニング）
弁ふた:FCD450-10
締付ボルト・ナット:FCD450-10または
　FCD(420-10)
ゴムパッキン:SBR



※(　)内寸法は、呼び径75・100用です。

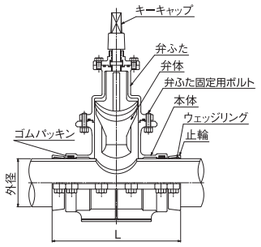


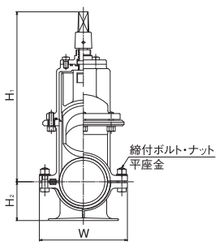
（単位:mm）

呼び径	外　径	H1	H2	L	W
75	93.0	434	97	240	242
100	118.0	485	109	270	272
150	169.0	583	130	340	336
200	220.0	745	155	390	392
250	271.6	870	176	450	442
300	322.8	955	202	520	493

ヤノ・ストッパー (TV-210)

〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁棒:SUS403
弁体:FCD450-10（SBRゴムライニング）
弁ふた:FCD450-10
締付ボルト・ナット:SUS304
ゴムパッキン:SBR





塩ビ管用

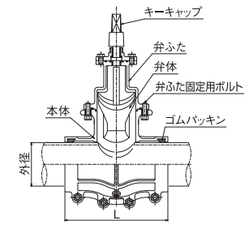
（単位:mm）

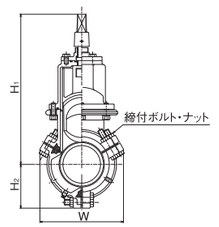
呼び径	外　径	H1	H2	L	W
75	89	434	91	330	219
100	114	485	103	360	244
150	165	583	133	454	302
200	216	559	158	548	392

※浅層埋設に対応しております。

ヤノ・ストッパー (TV-210)

〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁棒:SUS403
弁体:FCD450-10
　（SBRゴムライニング）
弁ふた:FCD450-10
締付ボルト・ナット:FCD450-10または
　FCD(420-10)
ゴムパッキン:SBR





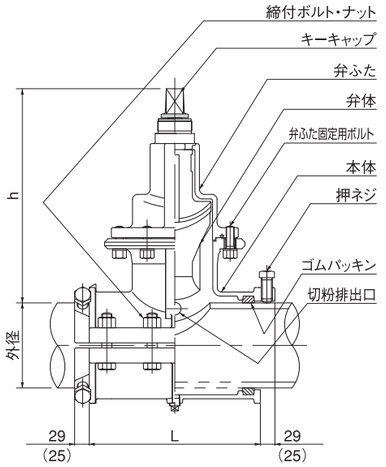
石綿管用（1種旧規格）（TV-210）

（単位:mm）

呼び径	外　径	H1	H2	L	W
75	97	436	123	344	246
100	126	488	137	375	271
125	156	543	154	410	300
150	185	591	170	390	327
200	246	752	211	588	400
250	307	878	242	582	454
300	366	972	274	578	510

（注）外径は弊社設計外径です。老朽化した石綿管等、管の状態によっては施工できない場合があります。
　　呼び径350以上、1種新規格管等その他のサイズについてはお問い合せ願います。
※上記以外のサイズについてはお問い合せ願います。

浅層埋設対応型ヤノ・ストッパー (TV-210S)



〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁棒:SUS403
弁体:FCD450-10（SBRゴムライニング）
弁ふた:FCD450-10
締付ボルト・ナット:FCD450-10または
FCD(420-10)
ゴムパッキン:SBR

※(　)内寸法は、呼び径75･100の場合を示します。
呼び径200～300にはキーキャップは付属しません。

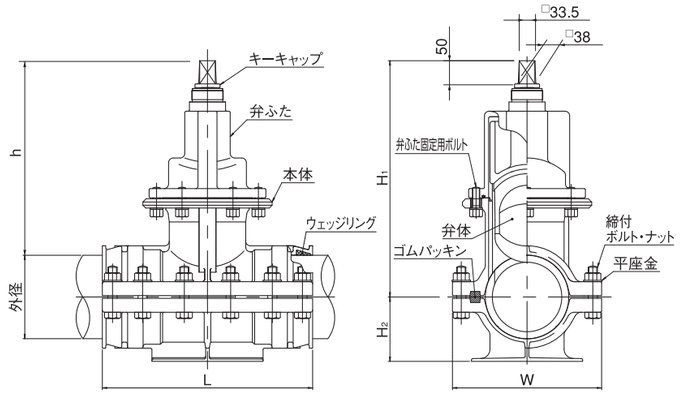
鋳鉄管用

（単位:mm）

呼び径	外　径	H_1	H_2	L	W	h
75	93.0	346	97	240	242	299
100	118.0	392	109	270	272	333
150	169.0	510	130	340	336	426
200	220.0	559	155	390	392	449
250	271.6	654	176	450	442	518
300	322.8	739	202	520	493	578

ポリ管用ヤノ・ストッパー（TV-210SP）浅層埋設対応型





※呼び径200にはキーキャップは付属しません。

〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁棒:SUS403
弁体:FCD450-10（SBRゴムライニング）
弁ふた:FCD450-10
締付ボルト・ナット:SUS304
ゴムパッキン:SBR

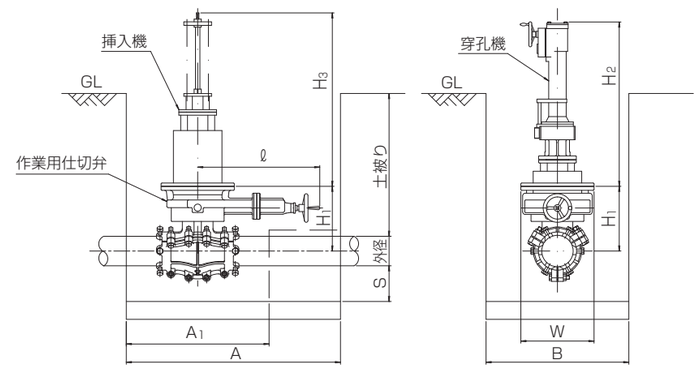
水道配水用ポリエチレン管用

（単位:mm）

呼び径	外　径	H_1	H_2	L	W	h
75	90	346	93	334	224	301
100	125	392	110	374	259	330
150	180	510	139	454	322	420
200	250	559	150	500	407	434

ヤノ・ストッパー工事の標準掘削図

ヤノ･ストッパー工事の標準掘削図（TV-210）

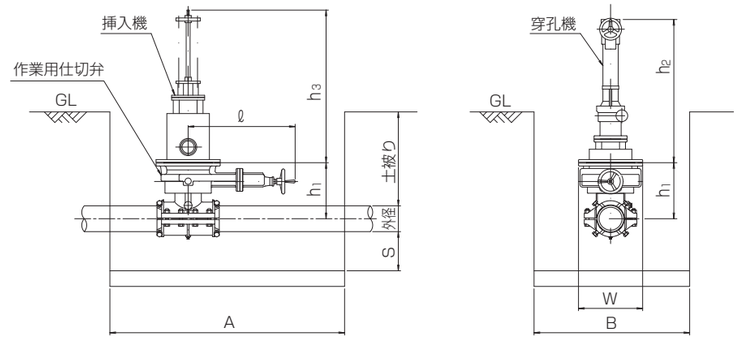


（単位:mm）

呼び径＼記号	掘削寸法				機材寸法				
	A	A_1	B	S	ℓ	W	H_1	H_2	H_3
75	1200	900	1200	150	590	610	367	895	905
100	1200	900	1200	200	590	610	326	895	905
125	1300	900	1200	200	685	668	344	915	975
150	1300	900	1200	200	685	668	358	915	975
200	1700	1200	1200	200	835	750	429	1275	1100
250	1900	1200	1400	300	1050	918	572	1715	1540
300	1900	1200	1400	300	1050	918	540	1715	1540
350	2300		1600	300	1305	1060	602	1840	1915
400	2300		1600	300	1305	1060	652	1840	1915
450	2700		1900	350	1590	1104	725	2225	2175
500	2700		1900	350	1590	1104	755	2225	2175
600	3000		2000	400	1770	1214	837	2345	2255

※A1寸法及び破線は石綿管用の寸法です。鋳鉄管、鋼管、塩ビ管はL寸法及び実線の掘削図をご使用ください。
また、石綿管の施工に際しては割T字管取り付け後、管の上部まで川砂で埋め戻し、水締めをしてください。
※他の埋設物等が、掘削の障害となる場合はお問い合せ願います。
※上記以外のサイズについてはお問い合せ願います。
※締切時のスラスト力に対する防護は別途考慮願います。
※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を施して下さい。

浅層埋設対応型ヤノ･ストッパー工事の標準掘削図（TV-210S）



（単位:mm）

呼び径＼記号	掘削寸法			機材寸法				
	A	B	S	ℓ	W	h_1	h_2	h_3
75	1100	1200	150	590	610	313	895	905
100	1100	1200	200	590	610	326	895	905
150	1300	1200	200	685	668	359	915	975
200	1600	1200	200	835	750	429	1275	1100
250	1800	1400	300	1050	918	506	1715	1540
300	1900	1400	300	1050	918	540	1715	1540

※他の埋設物等が、掘削の障害となる場合はお問い合せ願います。
※締切時のスラスト力に対する防護は別途考慮願います。
※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を施して下さい。

ヤノ・ストッパーⅡ型 分岐管付きヤノ・ストッパー（TV-210Ⅱ）

水流・水質に影響を与えず、スムーズな施工

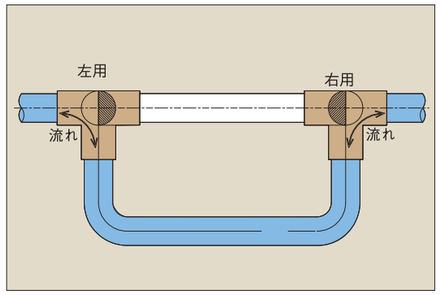
「水を停めずに水を止める」 ヤノ・ストッパーに分岐管を取り付け1台2役!!

特　　長

- ヤノ・ストッパーに分岐部を加え、特殊形状の弁体により管路の移設や布設替えなどが断水する事なく行えます。
- 不断水穿孔による分岐取出工事と、既設本管の断水器取付工事が1台で行えます。
- 呼び径75～200は本管側と分岐配管側にそれぞれ独立した弁体が組込まれ、独自に開閉できます。
- 呼び径250・300は分岐部には切替弁がありませんので、分岐バルブ（別途ご用意下さい）の取り付け、または分岐配管後に穿孔します。
- 掘削面積が小さく、施工時間・コストを大幅に削減します。
- 分岐管側の洗管時、本管側の弁体の操作がいらず、にごり水が発生しません。



呼び径75～200





呼び径250・300

掘削面積・施工時間半減！ だからコストダウン

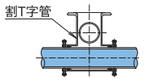


施工例

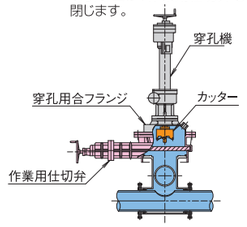
ヤノ・ストッパーⅡ型呼び径75～200工程図

施工順序

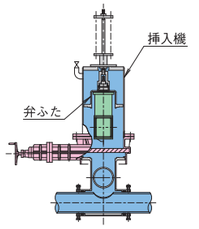
1 所定の位置に割T字管を取り付け、水圧テストを行います。作業用仕切弁を割T字管のフランジに設置します。



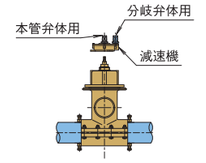
2 穿孔用合フランジ及び穿孔機を作業用仕切弁上に設置し、穿孔を行います。穿孔終了後、カッターと切片を引き上げ、作業用仕切弁を閉じます。



3 穿孔機を撤去し、弁ふたを取り付けた挿入機を設置します。（弁ふたには、本管弁・分岐弁を内蔵しています）

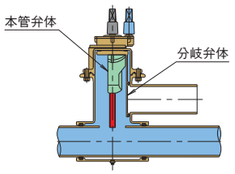


4 作業用仕切弁を開き、弁ふたを挿入する。弁ふたを固定し挿入機・作業用仕切弁を取り外します。弁ふたに減速機を取り付けます。キーキャップを取り付け、設置完了です。

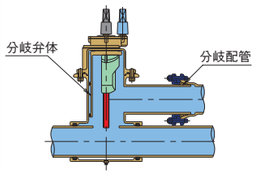


切替操作

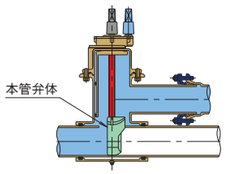
1 設置完了。（本管弁体開、分岐弁体閉）



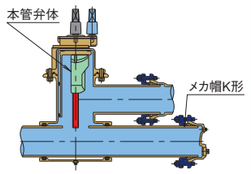
2 分岐側を配管し、分岐弁体を開けます。



3 本管弁体を閉じ、止水確認を行います。



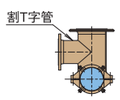
4 管切断し、メカ帽K形を取り付けた後、本管弁体を開けます。



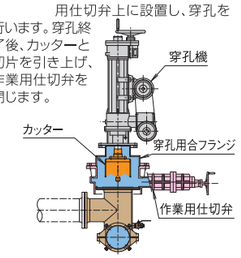
ヤノ・ストッパーⅡ型呼び径250・300工程図

施工順序

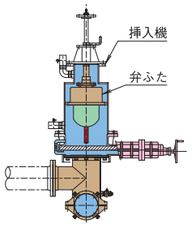
1 所定の位置に割T字管を取り付け、水圧テストを行います。分岐側の配管または分岐バルブを取り付けます。



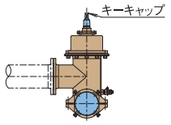
2 作業用仕切弁を割T字管のフランジに設置します。穿孔用合フランジ及び穿孔機を作業用仕切弁上に設置し、穿孔を行います。穿孔終了後、カッターと切片を引き上げ、作業用仕切弁を閉じます。



3 穿孔機を撤去し、弁ふたを取り付けた挿入機を設置し、作業用仕切弁の上下の圧力を同圧にします。

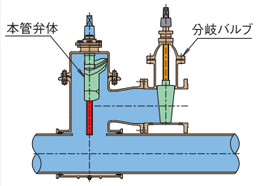


4 作業用仕切弁を開き、弁ふたを挿入する。弁ふたを固定し挿入機・作業用仕切弁を取り外します。キーキャップを取り付け、設置完了です。

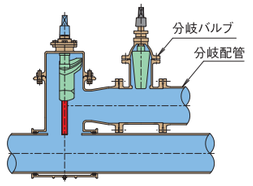


切替操作

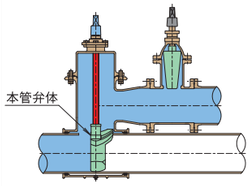
1 設置完了。（本管弁体開、分岐側バルブ閉）



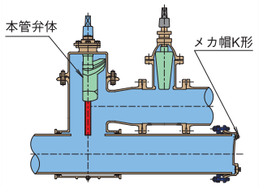
2 分岐側を配管し、分岐バルブを開けます。



3 本管弁体を閉じ、止水確認を行います。

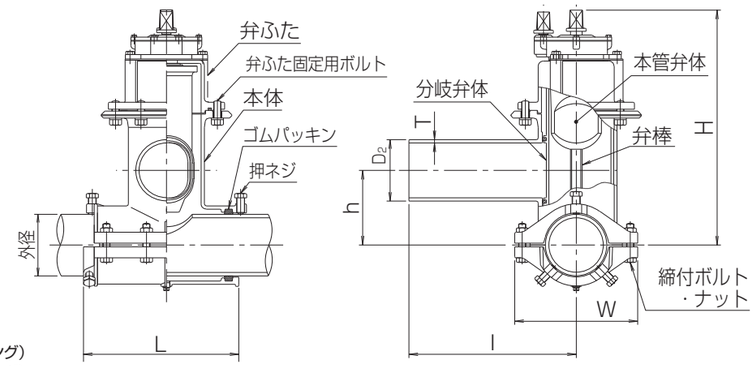


4 本管を切断し、メカ帽K形を取り付けた後、本管弁体を開けます。



ヤノ・ストッパーⅡ型 分岐管付きヤノ・ストッパー（TV-210Ⅱ）

呼び径75～200



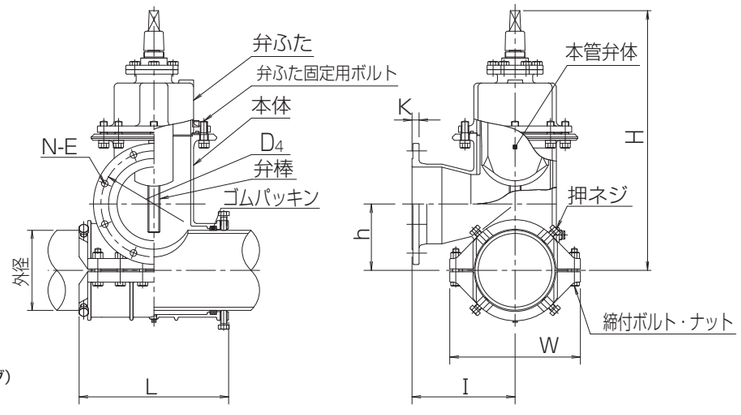
〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁ふた:FCD450-10他
本管弁体:FCD450-10（SBRゴムライニング）
分岐弁体:FCD450-10（SBRゴムライニング）
締付ボルト･ナット:FCD450-10またはFCD（420-10）
押ネジ:FCD450-10
弁ふた固定用ボルト:SUS403
ゴムパッキン:SBR

鋳鉄管用

（単位:mm）

呼び径	外　径	L	W	H	h	l	D_2	T
75	93	366	247	428	129	380	93	8.5
100	118	456	288	493	153	385	118	8.5
150	169	456	338	642	205	460	169	9.0
200	220	526	394	743	258	460	220	11.0

呼び径250・300



〈材　質〉
本体:FCD450-10
弁ふた:FCD450-10他
本管弁体:FCD450-10（SBRゴムライニング）
締付ボルト･ナット:FCD450-10または
FCD（420-10）
押ネジ:FCD450-10
弁ふた固定用ボルト:SUS403
ゴムパッキン:SBR

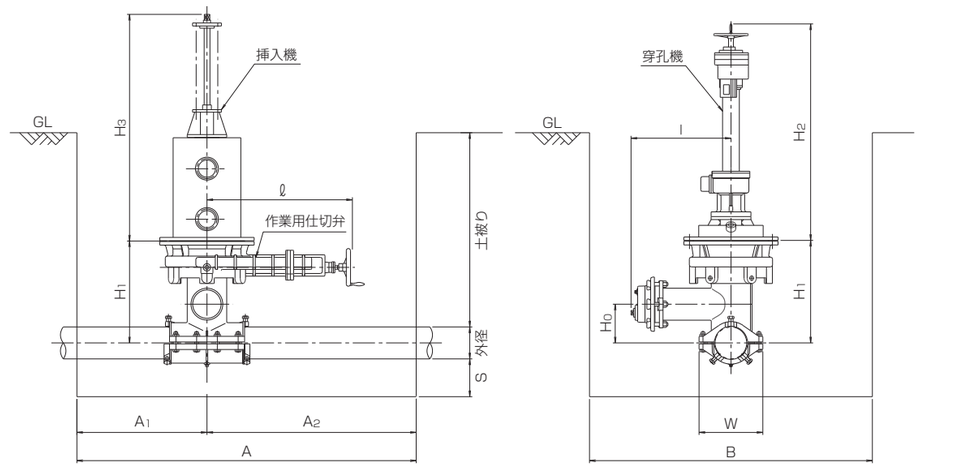
鋳鉄管用

（単位:mm）

呼び径	外　径	L	W	H	h	l	D_4	K	N-E
250	271.6	508	443	880	225	350	360	24	8-23
300	322.8	578	493	980	280	400	414	25	10-23

ヤノ・ストッパーⅡ型工事の標準掘削図

ヤノ･ストッパーⅡ型呼び径75～200の標準掘削図

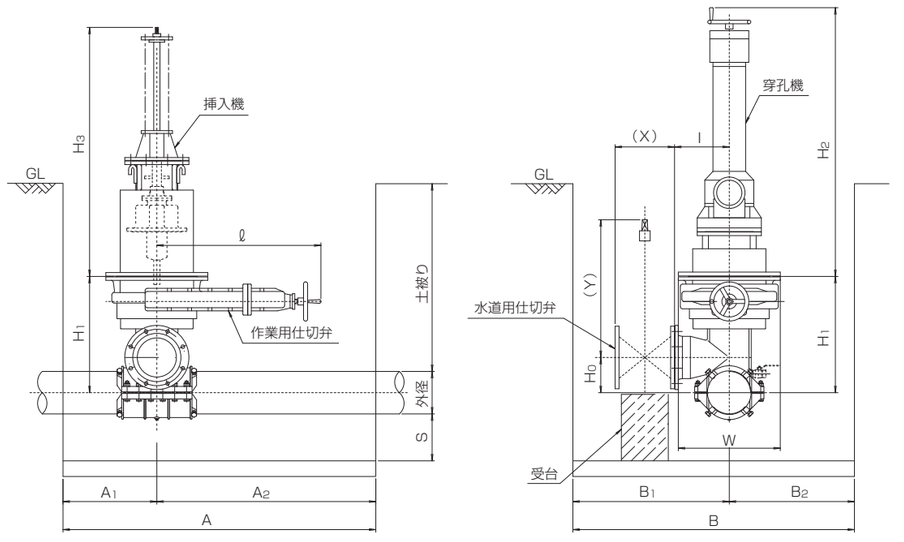


（単位:mm）

呼び径＼記号	掘削寸法					機材寸法					割T字管寸法	
	A	A_1	A_2	B	S	ℓ	W	H_1	H_2	H_3	H_0	l
75	1500	500	1000	1200	200	685	410	405	880	1110	129	430
100	1500	500	1000	1200	200	685	410	445	880	1110	153	455
150	1800	600	1200	1500	200	835	500	540	1455	1570	205	530
200	2000	600	1400	1800	300	975	582	675	1445	1945	258	530

※締切時のスラスト力に対する防護は別途考慮願います。
※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を施して下さい。

ヤノ･ストッパーⅡ型呼び径250･300の標準掘削図



（単位:mm）

呼び径＼記号	掘削寸法							機材寸法					割T字管寸法		仕切弁参考寸法	
	A	A_1	A_2	B	B_1	B_2	S	ℓ	W	H_1	H_2	H_3	H_0	l	(X)	(Y)
250	2000	600	1400	1800	1000	800	300	1050	918	743	1755	1675	225	350	380	880
300	2000	600	1400	1800	1000	800	300	1050	918	762	1755	1600	280	400	400	980

※締切時のスラスト力に対する防護は別途考慮願います。
※右断面図の分岐フランジには別途仕切弁を準備して下さい。
※作業床の状態が悪い場合は、砕石基礎を施して下さい。